



親鸞聖人750回大遠忌



活気ある門前町をめざして

おうの かずお
負野 和夫

本年（平成二十一年）五月二十二日から二十六日まで、ご本山において「本願寺御影堂平成大修復完成慶讃法要」が厳修されました。平成十一年から十年もの歳月をかけ綺麗に修復されたのですが、御影堂の白銀の大屋根を見ていると、昔から何ひとつ変わらないように感じるのが不思議です。

思い起こしますと、御影堂に修復工事の素屋根がかかり、御影堂門が閉鎖され門前に人影が少なくなった時期、折しも日本はバブル経済崩壊後で景気が落ち込んでいく時期と重なり、寂れていく門前を心配したものです。

バブル経済は、門前にも多くの影響を与えました。旅館が取り壊されマンションに変わり、門前に宿泊場所が少なくなり、ご本山参拝者は市中のホテルなどに宿泊されるようになりました。

私が幼少のころ、門前には多くの旅館が立ち並び、夕食後の時間などは近隣の旅館にお泊りの方々が、浴衣姿でおみやげを買い求めて歩く姿が多く見受けられたものです。

また、毎日といってもいいほど、伝道院をスケッチされている方を見かけたものでした。

そのころの門前の賑わいを再び取り戻したいという願いのもと、現在、門前の地域では、親鸞聖人七百五十回大遠忌法要に向けて「本願寺門前町活性化推進協議会」を設立し、門前地域の活性化を検討しています。

構成団体は、下京区役所、自治連合会（植柳学区・安寧学区・淳風学区・醒泉学区・大内学区）、西六条協賛会、開明社、相愛会、龍谷大学、浄土真宗本願寺派であります。ご本山に隣接する学区と関係団体であります。

会の名称は門前町となっていますが、これはご本山の「門前」を表しているのではなく、本願寺所在地の名称が京都市の町名として門前町と記されている所から命名されたもので、ご本山を中心として、広域にわたり人が集える町（地

域)にするのが活性化推進協議会の大きな目標であります。

門前の活性化は、幾度となく言われ続けています。平成十年、蓮如上人五百回遠忌法要の時に、門前の活性化のために発足したのが「西六条協賛会」です。西六条協賛会は、蓮如上人の法要時や、本願寺盆おどりなどに協力し、門前活性化のために今日まで活動してこられました。

新しく発足した門前町活性化推進協議会の会議に参加して感じることは、ご本山と地域住民との交流がこれまで余りなく、さまざまな見方やご意見が出てくることです。しかし、自治会長の昔話を聞いていると、過去においてご本山と門前とは、(この場合の「門前」は植柳学区のこと)、一体であった話をされます。ご正忌報恩講や降誕会などの法要や諸行事には、各家庭の軒先に、ご本山の旗が自然と掲げられていたという話を聞きますと大変興味深いものを感じます。

門前町活性化推進協議会では、五月の御影堂平成大修復完成慶讃法要に併せ、「安穩のともしび」を開催しました。この取り組みは本願寺のご法要に併せ、

本願寺前の堀川通りや堀に「灯籠」を設置して、本願寺・門前町の歴史的景観や情緒あふれる町並みにやさしい灯りを照らし、町の賑わいづくりの一助として貢献することを目的に実施しました。まだまだ小さな試みではありますが、新たな一歩を踏み出せた気がいたします。

最近の京都市内は、人の流れが変わりました。以前は、四条通りや河原町通りが京都の繁華街でしたが、今は、京都駅周辺や三条通りが多くの人で賑わっています。特に三条通りに関しては、これという要因はないものの、京都文化博物館や古い洋館がリニューアルされ、点と点とが繋がりがり面となり、人びとが集まり出しました。住まわれていた方や商売をされていた方が、いろいろな理由でテナント貸しをされるようになり、不動産の流動化が起こり、今では多くの店舗が集まり、人の賑わいが絶えることのない地域に変貌を遂げています。

ご本山周辺は、京都駅に近く旧跡も多くあります。とくに本願寺は世界遺産でもあり、国宝「飛雲閣」や多くの至宝をお持ちです。門前では、京都市の文化財であり、町のシンボルでもあるれんが造りの伝道院が、大遠忌法要までに

は修復されるという話を聞き、元の姿が見られることを楽しみにしています。新たに建設される龍谷ミュージアムの工事は、すでに着工され順調に進んでおり、門前町の活性化を期待しています。

この状況に鑑^{かんが}みますと、この地域にも人を呼び込める状況になりつつあるのではと考えます。五十年に一度の親鸞聖人七百五十回大遠忌法要を縁として、ご本山に参拝される人々があふれ、門前町一帯が活気ある地域になるように、ご本山の諸行事や各自治会のさまざまな取り組みとを結び、点から面に変えていく活動の旗振り役を門前町活性化推進協議会が担^{にな}えればと考えます。この地域に大きな活力が生まれるように微力ながら力を尽くしたいと考えています。

（ 本願寺門前町活性化推進協議会 会長 ）
株式会社 負野薫玉堂 代表取締役